

平成22年度 事業報告

法人全般

学園事業

■ヘルスパイア倉敷

21年度に取得した、ヘルスパイア倉敷（旧サンパイア倉敷）について、改修工事を実施しました。

秋頃のオープンを目途に、サナトリウム（断食道場）や、薬湯、薬膳料理を取り入れた福利厚生施設を計画しています。

10月16日、一般を対象に見学会が開かれました。倉敷芸術科学大学顧問石原結實氏による特別講演会も開かれ、600名を超える参加者が訪れました。また、11月3日、正式にオープンし、セレモニーには政財界を中心に約300名が参加しました。

■加計学園生命動物教育センター

加計学園生命動物教育センターは、好適環境水施設、ドッグトレーニング場などを完備し、学園の設置する大学等が共同利用できる施設として設置し、22年度より運用しております。



ドッグトレーニング場



屋内大型水槽

好適環境水を利用した養殖施設が注目され、新聞、TV等、各種メディアに取り上げられました。また、施設見学には、教育関係者、地方議会等、各種団体、延べ約800名が、視察に訪れました。

■省エネルギーの推進

平成21年度より省エネルギー推進委員会を定期的で開催し、省エネルギーに対する教職員の意識向上に努めています。本年度は、この省エネルギー推進を本格化、明確な数値目標を設定し、省エネルギーに努めます。省エネルギー推進委員会については、今年度は3回開催し、積極的な意見交換がなされました。

■創立者加計勉「献花の集い」

創立者加計勉先生の三回忌となる平成22年4月30日に「献花の集い」を岡山理科大学第25号館岡山理科大学ホールにて実施し、約400名が参加しました。

■TV放映

5月末から8月にかけて、岡山放送（OHK）、沖縄放送（OTV）、日本BS放送（BS11）にて、加計グループの学園紹介がシリーズ放映されました。加計学園については、学園本部を含め、設置校の紹介が延べ21回放映されました。

■玉野市との包括連携協定

8月23日、玉野市と加計学園において、包括的な連携のもとに互いに協力し、地域社会の発展と学術の振興に寄与することを目的として、8月23日、包括連携協定を締結しました。

50周年記念事業

平成23年に学園創立50周年を迎えるにあたり、「創立50周年記念事業委員会」で事業内容を検討し、既に岡山理科大学において「電光掲示板の設置」、「岡山理科大学正門の設置」を実施しました。



■創立者加計勉の銅像制作

創立者加計勉の業績を称えるとともに、「建学の理念」の精神を引き継ぐ象徴として、岡山理科大学ロータリーの中心に、創立者の銅像を設置します。

50周年を迎える平成23年度の完成を目指し、倉敷芸術科学大学の蛭田二郎名誉教授が制作中です。



創立者加計勉の銅像（※イメージ）

■創立50周年記念館の建設

加計学園創立50周年記念館の建設を計画しています。（平成23年度竣工予定）

高校より強い要望があり、従来の建設予定地を変更し、高校中庭に50周年記念館を建設することとなりました。

※記念館（中央）を含めた50周年記念事業全体イメージ



予定地変更に伴い、当初計画より延べ床面積が減少し、1,400㎡の4階建となります。

■加計勉基金の創設

50周年記念事業として、新たに50周年記念加計勉基金を創設します。これは教育助成などを行うことを目的とし、加計学園の8設置校を対象とした奨学制度とします。

■出版物の作成等

平成23年発行予定の「創立50周年記念誌」の編纂を行います。同時に、映像・写真のデータベース化を図ります。

また、機関紙（50周年へGoGo!）の作成と配布を行いました。

■基金・募金事業

加計学園創立50周年記念事業計画に要する資金調達のため、平成20年度から募金を行っており、第2期募集期間（平成22年4月1日～平成24年3月31日）の募金趣意書等の作成と発送を行いました。

特命事業関係

私学経営の厳しさが増す中で多様な財源確保方策の一助とし、且つ学園組織の簡素化等に資するため特命事業として、出資会社K2ライフラボによる事業を積極的に進めるとともに企業活動を広く展開しつつ学園へ寄与するよう努めて参りました。

■主な事業

次の各種事業を積極的に展開して参りました。

①技術・研究シーズの社会還元事業の展開

- ・好適環境水事業（陸上閉鎖循環式養殖システム・海水魚淡水魚混泳化飼育水、魚体トリートメント浴用水）
- ・水質浄化事業（亜塩素酸・水族館、湖沼等）
- ・eラーニング事業（MOMOTAROシステム）
- ・化粧品開発事業（潤身シリーズ）
- ・その他の特許権、著作権に係る市場化事業

②学園業務支援事業の展開

- ・業務受託事業（水質管理事業・生命動物教育センター運営管理事業）
- ・学外実習場の提供（アクア・洋菓子製造等実習）及び実習成果物受託販売（観賞魚等）
- ・消耗品調達代行システムの導入展開
- ・印刷・製本事業

③学生・教職員、地域住民等に対する学園サービス業務の代行又は提供事業

- ・図書類、学用品等の斡旋販売
- ・外貨宅配事業
- ・レンタル事業（袴・生活用品・各種物品）
- ・各種傷害保険等保険代理店事業

④ヘルスピア倉敷等運営事業

ヘルスピア倉敷の施設整備の進展に伴い倉敷芸術科学大学との連携の下、施設の管理運営に関し教育研究施設以外の施設についての運營業務を行います。

- ・屋外レジャープール運営事業
- ・アイスアリーナ運営事業
- ・ファスティングヘルス事業（断食道場）
- ・レストラン事業
- ・スポーツ施設管理事業（テニス・フットサル・スカッシュ等）
- ・その他事業

■厚生施設利用契約（ヘルスピア倉敷）

日本私立学校振興・共済事業団と厚生施設利用契約を締結しました。

平成22年度より、私学共済加入者が私学共済より発行される補助券を利用すれば、ヘルスピア倉敷の屋外プール及びアイススケート（貸靴料別途）を無料で利用できるようになりました。



国際交流関係

本学園はグローバル化する国際社会において、諸外国との親密な連携が人材育成には不可欠であると考え、早くから国際性の涵養を教育理念の一つに掲げ、様々な取組を続けています。

本年度は、以下のような取組を行ってまいりました。

■半田山荘（迎賓館）の購入

理事長より借用していた半田山荘を正式に購入し、国際交流における迎賓館として利用しております。

■フェアウェルパーティー

7月12日、岡山理科大学スカイテラスにて、教育交流協定を締結している諸外国の学生等を招いてフェアウェルパーティーを開催いたしました。

外国人学生約70名を含む約500名が参加し、中国、韓国、スリランカ、ベトナム、ネパールの国際屋台を楽しみました。

■第1回加計勉杯日本語コンテスト

9月19日、スリランカにて、第1回加計勉杯日本語コンテストが開催されました。

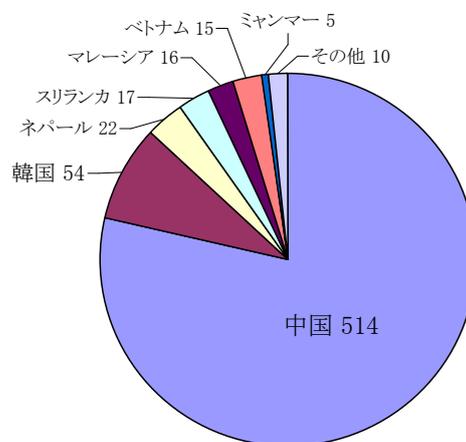
スリランカ大使館の後援のもと、加計学園主催で行われたこのコンテストに90名の応募者の中から予選を勝ち抜いた10名が出場し、優勝者には日本への往復航空券が贈られました。会場には約200名の聴衆が参集し、極めて質の高いコンテストが行われたと、各方面より高い評価を頂きました。

11月18日、優勝者となったマヒンダ高校教師ニルカ・ラトナーヤカさんが来日し、岡山理科大学第三学舎1階ホールにてスリランカ支局長と共に「スリランカってどんな国」と題したセミナーを行いました。セミナーの最後に彼女の優勝スピーチが披露され、つめかけた約150名の聴衆から大きな拍手を浴びました。また、このことが

縁となり本学園とマヒンダ高校の間に教育交流協定が締結され、新聞やテレビで大きく報道されました。

■国別留学生内訳

(平成22年5月1日現在)



総数：642（単位：人）

■海外協定校

(平成23年3月31日現在)

国名	教育交流協定校	校数
中国	南開大学、北京科技大学、雲南大学、中山大學、河南科技大学、 東北師範大学、東北師範大学人文学院、中国管理軟件学院、北京城市学院、 北京市実業職業学校、北京市民族文化芸術職業学校、北京市求实職業学校、 (留学生募集に関する提携校：内蒙古智力引進外語專修学院、 北京平成日本語学校、成都瀨川日本語学校、四川外国語学院国際教育学院、 西南交通大学外語学院国際項目部、深圳職業技術学院、明正日本語学校)	21校
韓国	慶一学園、金剛学園(永同大学、亨硯高校)、鶴山学園(東ソウル大学)、 金龍学園(徳園女子高校)(徳園芸術高校)、桂林学園(正明高校)、 清錫学園(清州大学)、純心教育財団(純心高校)、湖西学園(湖西大学)、 江原大学、金泉大学、大田保健大学、韓国防災協会、全南女子商業高等学校	13校
台湾	大華技術学院、明新科技大学、南台科技大学、稲江科技暨管理学院、 稲江高級商業職業学校、金甌女子高級中学、致理技術学院、 海山高級工業職業学校、治平高級中学、財団法人崇右技術学院	10校
アメリカ	ライト大学、ハワイ大学、フィンドリー大学、シェネンドーア大学、 グアム大学	5校
イギリス	サンダーランド大学、オックスフォード大学、 ケンブリッジ大学キャベンディッシュ研究所、ダービー大学	4校
ブラジル	パラナ・カトリカ大学、パラナ連邦大学、バンデイランテス高校	3校
スリランカ	ワヤンバ・ロイヤルカレッジ、マリヤデワ・カレッジ、 マリヤデワ・バーリカウィッダヤーラヤ	3校
オーストリア	ヨハネス・ケプラー大学、リンツ工科造形芸術大学	2校
シンガポール	ニー・アン・ポリテクニク、シンガポール・ポリテクニク	2校
ベルギー	ブリュッセル自由大学、アントワープ王立美術アカデミー	2校
フランス	リヨンI大学	1校
カナダ	モホーク大学	1校
タイ	パトゥムワン・デモンストレーション・スクール	1校
フィリピン	フィリピン国立大学ロスバニニョス校	1校
コスタリカ	コスタリカナショナル大学	1校
オーストラリア	アニマルインダストリーズリソースセンター	1校

■教育交流協定校との交流プログラム

国名	計画	実行
アメリカ	ライト大学仕事体験生4名	4～翌年 3月
韓 国	湖西大学単位互換履修生1名	9月 ～翌8月
台 湾	致理技術学院科目等履修生計4名（前期と後期各2名）	4～翌年 3月
台 湾	致理技術学院学生訪日研修団 20名	5.17 ～5.26
台 湾	派遣：南台科技大学 5名	8.22 ～9.5
アメリカ	フィンドリー・ライト大学学生訪日研修団来学 20名	6.26 ～7.21
アメリカ	派遣：ライト大学8名、 フィンドリー大学8名 学生研修団	8.8～30 8.17 ～9.9
ブラジル	パナマ連邦大学・パナマカトリカ大学 学生訪日研修団計12名	6.26 ～7.21
ブラジル	派遣：パナマ連邦大学・パナマカトリカ大学へ学生研修団 3名	8.8 ～8.30
韓 国	慶一学園生徒研修団 31名	7.20 ～7.23
中 国	北京城市学院・北京科技大学 学生訪日研修団29名	7.26 ～8.4
中 国	成都瀨川日本語学校学生加計 学園三大学見学ツアー13名	9.30 ～10.7
韓 国	全南女子商業高校訪日研 修団28名	7.13～ 7.17
中 国	四川外国語学院学生訪日研修 団15名	2.9～ 18

■その他

計画	実行
海外支局長会議 1回目	4月6～7日
2回目	11月18～19日
(中国) 江蘇省前教育長一行 来学13名	11.30
(米国) スミス・アガデミ来学12名	11.5～11.19
(タイ) カセサート大学学部長一行 来学6名	3.2～3.5
(タイ) 泰日工業大学副学長来 学	3.9～10
(中国) 波田学長が北京科技大 学を訪問、調印式出席	12.1～4
(米国) フィンドリー大学学長 来学1名	10.25

人事について

■事務職員人事

平成22年度の人事異動に伴い、前法人本部事務局長の内田修心氏は、千葉科学大学事務局長に就任し、新たに渡邊良人氏が法人本部事務局長に就任、岡山理科大学事務局長と兼務いたします。

また、学園出納局長に、元倉敷芸術科学大学事務局長の岡本繁通氏が就任いたしました。

■法人顧問

平成22年5月1日より、学園の法人顧問として、社会教育家で、ライフハーモニー教育研究所所長の位田隆久氏が就任いたしました。

学園の概況

■学園の沿革（抜粋）

- 昭和30年 4月 加計学園の出発点ともなった広島英数学館を、加計勉が創立
- 昭和36年 9月 **学校法人加計学園**認可、理事長に加計勉就任、岡山電機工業高等学校設置認可
- 昭和37年 4月 **岡山電機工業高等学校**開校（全日制） 初代校長に神崎栄一郎就任
- 昭和39年 1月 岡山理科大学設置認可
岡山理科大学設置認可にともない、岡山電機工業高等学校を**岡山理科大学附属高等学校**と改称
- 4月 **岡山理科大学**開学（理学部） 初代学長に加計勉就任
- 昭和42年 4月 岡山理科大学附属高等学校第2代校長として、内藤一人就任
- 昭和44年12月 真庭郡川上村に岡山理科大学蒜山研究所、蒜山学舎を開設
- 昭和48年10月 学校法人加計学園の所在地が岡山市の住居表示変更により、岡山市理大町と町名変更
- 昭和49年 4月 岡山理科大学大学院理学研究科修士課程を設置
岡山理科大学附属高等学校第3代校長として中尾寿夫就任
- 昭和50年 4月 岡山高等建築専門学院設置認可
5月 **岡山高等建築専門学院**開校（建築学科夜間部定時制） 初代校長に中尾寿夫就任
- 昭和51年 4月 岡山高等建築専門学院、専修学校法施行により**岡山高等建築専門学校**と改称
- 昭和53年 4月 岡山理科大学大学院理学研究科に博士課程（後期）を設置
- 昭和54年 4月 岡山理科大学大学院理学研究科修士課程に機械理学専攻、電子理学専攻を増設
- 昭和55年 4月 岡山理科大学第2代学長に、奥田毅就任
岡山理科大学附属高等学校第4代校長として、松本卓三就任
岡山高等建築専門学校昼間部を増設、第2代校長として片山誠二就任
- 7月 寄附行為変更により総長制度認可、初代総長に加計勉就任
- 昭和59年 4月 岡山理科大学第3代学長に、黒谷寿雄就任
- 昭和61年 4月 岡山理科大学工学部設置
岡山理科大学附属高等学校第5代校長として、三宅寛就任
岡山高等建築専門学校を**岡山理科大学専門学校**と改称
- 平成 2年 4月 岡山理科大学第4代学長に、加計勉就任
岡山理科大学大学院の理学研究科を改組し、工学研究科を設置
- 平成 4年 1月 岡山理科大学附属高等学校第6代校長として、加計晃太郎就任
4月 岡山理科大学附属高等学校第7代校長として、渡辺己巳生就任
- 平成 6年12月 倉敷芸術科学大学設置認可 初代学長に谷口澄夫就任
- 平成 7年 4月 **倉敷芸術科学大学**開学
- 平成 9年 4月 岡山理科大学総合情報学部を増設
12月 玉野看護福祉総合専門学校設置認可
- 平成10年 4月 **玉野看護福祉総合専門学校**を開校 初代校長に金政泰弘就任
岡山理科大学附属高等学校第8代校長として、三木輝知就任
岡山理科大学専門学校第3代校長として、村上侑就任
- 平成11年 4月 倉敷芸術科学大学第2代学長に土井章就任
倉敷芸術科学大学大学院開設
- 平成12年 4月 倉敷芸術科学大学教養学部を国際教養学部に変更

- 岡山理科大学附属高等学校通信制課程普通科を設置
- 平成13年 1月 学校法人加計学園第2代理事長・総長に加計晃太郎就任
- 4月 岡山理科大学大学院修士課程に総合情報研究科設置
倉敷芸術科学大学大学院芸術研究科に博士（後期）課程設置
- 平成13年 4月 倉敷芸術科学大学留学生別科を設置
玉野看護福祉総合専門学校を、**玉野総合医療専門学校**に名称変更
- 岡山理科大学第5代学長として、山村泰道就任
- 9月 岡山理科大学附属中学校設置認可
- 平成14年 4月 倉敷芸術科学大学大学院（通信制）設置
岡山理科大学附属高等学校第9代校長として、北尾正幸就任
岡山理科大学専門学校第4代校長として、逢坂一正就任
岡山理科大学附属中学校開校 初代校長として、善木道雄就任
- 平成15年 4月 倉敷芸術科学大学産業科学技術学部（通信教育課程）、国際教養学部（通信教育課程）を設置
- 11月 千葉科学大学設置認可
- 平成16年 3月 倉敷芸術科学大学専門学校設置認可
- 4月 岡山理科大学第6代学長に宮垣嘉也就任
倉敷芸術科学大学生命科学部を設置
倉敷芸術科学大学国際教養学部募集停止
倉敷芸術科学大学国際教養学部（通信教育課程）募集停止
千葉科学大学開学 初代学長に平野敏右就任
倉敷芸術科学大学専門学校開校 初代校長に岡本繁通就任
- 平成17年 4月 倉敷芸術科学大学第3代学長に添田喬就任
岡山理科大学附属高等学校第10代校長に橋爪道彦就任
岡山理科大学附属中学校第2代校長に新倉正和就任
岡山理科大学専門学校第5代校長に圓堂稔就任
玉野総合医療専門学校第2代校長に岡田茂就任
- 平成19年 4月 倉敷芸術科学大学専門学校第2代校長に伊藤敏夫就任
- 平成20年 4月 千葉科学大学大学院薬科学研究科、危機管理学研究科設置
倉敷芸術科学大学専門学校を**倉敷 食と器 専門学校**に名称変更
- 平成21年 4月 岡山理科大学大学院工学研究科修士課程知能機械工学専攻設置
岡山理科大学大学院工学研究科修士課程福祉システム工学専攻募集停止
倉敷芸術科学大学産業科学技術学部コンピュータ情報学科（通信教育課程）をIT科学科（通信教育課程）に名称変更
倉敷芸術科学大学留学生別科神戸留学生別科設置
千葉科学大学危機管理学部動物・環境システム学科、医療危機管理学科設置
千葉科学大学危機管理学部防災システム学科、環境安全システム学科募集停止
- 5月 千葉科学大学薬学部生命薬科学科設置届出
千葉科学大学危機管理学部航空・輸送安全学科設置届出
- 8月 倉敷芸術科学大学産業科学技術学部IT科学科（通信教育課程）募集停止
- 10月 千葉科学大学大学院薬科学研究科博士課程（後期）設置認可
- 12月 千葉科学大学大学院危機管理学研究科博士課程（後期）設置認可
- 平成22年 3月 倉敷芸術科学大学産業科学技術学部生命化学科、起業学科（通信教育課程）を廃止
倉敷芸術科学大学国際教養学部（教養学科、起業学科、起業学科（通信教育課程））を廃止

平成22年 4月 千葉科学大学薬学部生命薬科学科設置
千葉科学大学危機管理学部航空・輸送安全学科設置
千葉科学大学薬学部薬科学科、動物生命薬科学科募集停止
千葉科学大学大学院薬科学研究科修士課程募集停止
千葉科学大学大学院薬科学研究科博士課程（後期）、危機管理学研究科博士課程（後期）設置
千葉科学大学第2代学長に赤木靖春就任
玉野総合医療専門学校第3代校長に高井研一就任
倉敷 食と器 専門学校第3代校長に川上雅之就任
岡山理科大学工学部建築学科設置届出
岡山理科大学大学院工学研究科修士課程生体医工学専攻設置届出
岡山理科大学大学院工学研究科修士課程建築学専攻設置届出
倉敷芸術科学大学産業科学技術学部経営情報学科届出
平成22年 6月 倉敷芸術科学大学生命科学部健康医療学科設置届出
平成23年 3月 岡山理科大学大学院工学研究科福祉システム工学専攻を廃止
岡山理科大学工学部福祉システム工学科を廃止

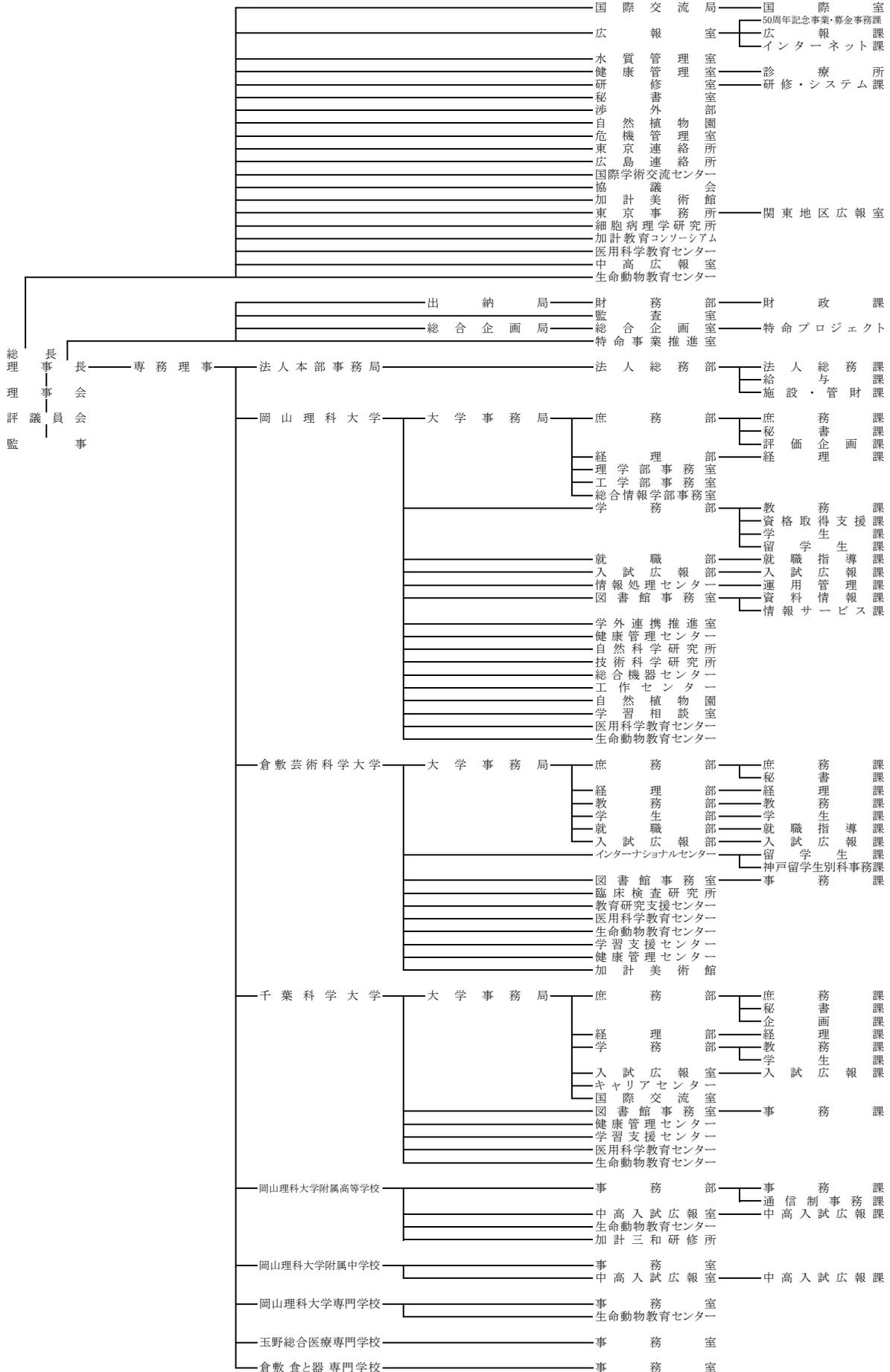
■設置校概況

平成22年5月1日現在

区 分	学生・生徒数		教職員数		
	定員	現員	教育職員	事務職員	計
岡山理科大学 (岡山市北区理大町1-1)	5,404	5,350	272	196	468
大学院	384	336		(本部) 83 (理大) 113	
理学研究科	191	188			
工学研究科	137	109			
総合情報研究科	56	39			
学部	5,020	5,014			
理学部	2,035	2,209			
工学部	1,755	1,653			
総合情報学部	1,230	1,152			
倉敷芸術科学大学 (倉敷市連島町西之浦2640)	2,822	1,812	122	55	177
大学院	126	64			
芸術研究科	52	27			
産業科学技術研究科	44	21			
人間文化研究科	30	16			
学部	1,676	1,711			
芸術学部	420	426			
産業科学技術学部	400	338			
生命科学部	856	947			
大学院(通信制)	120	14			
芸術研究科(修士課程)	20	4			
産業科学技術研究科(修士課程)	40	1			
人間文化研究科(修士課程)	60	9			
学部(通信教育課程)	900	23			
産業科学技術学部(通信教育課程)	900	23			
千葉科学大学 (千葉県銚子市潮見町3)	2,068	1,642	109	51	160
大学院	38	47			
薬科学研究科	25	29			
危機管理学研究科	13	18			
学部	2,030	1,595			
薬学部	1,045	775			
危機管理学部	985	820			
岡山理科大学附属高等学校 (岡山市北区理大町1-1)	2,100	1,558	75	17	92
全日制	1,500	1,254			
通信制(1~3年定員:600名)	600	304			
岡山理科大学附属中学校 (岡山市北区理大町1-1)	240	159	15	3	18
岡山理科大学専門学校 (岡山市北区半田町8-3)	500	391	12	11	23
工業専門課程(建築)	150	94			
商業実務専門課程(映像情報)	0	0			
文化・教養専門課程(動物看護, トリミング, トク)	350	297			
文化・教養一般課程(トリミング, トク, アク)	0	0			
玉野総合医療専門学校 (玉野市築港1丁目1-20)	560	468	32	7	39
医療専門課程(保健看護、理学療法、作業療 教育・社会福祉専門課程(介護福祉))	480	411			
教育・社会福祉専門課程(介護福祉)	80	57			
倉敷 食と器 専門学校 (倉敷市連島町西之浦2640)	200	97	7	4	11
衛生専門課程(高度調理、高度製菓)	160	90			
文化・教養専門課程(器デザイン)	40	7			
合 計	13,894	11,477	644	344	988

※別科、専攻科等除く

■事務組織図（平成22年5月1日）



財務関係

■資金収支計算書

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

収入の部 (単位：円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	14,928,169,778
手数料収入	248,222,645
寄付金収入	91,207,725
補助金収入	2,593,488,962
資産運用収入	173,418,212
資産売却収入	200,000,000
事業収入	122,933,738
雑収入	316,971,883
借入金等収入	801,950,000
前受金収入	2,351,904,450
その他の収入	1,321,335,541
資金収入調整勘定	△ 2,991,558,274
前年度繰越支払資金	20,400,535,738
計	40,558,580,398

支出の部 (単位：円)

科 目	金 額
人件費支出	11,189,620,970
教育研究経費支出	3,864,254,231
管理経費支出	1,217,498,673
借入金等利息支出	169,813,684
借入金等返済支出	997,095,400
施設関係支出	911,961,201
設備関係支出	520,330,160
資産運用支出	266,654,774
その他の支出	1,683,328,118
資金支出調整勘定	△ 562,323,664
次年度繰越支払資金	20,300,346,851
計	40,558,580,398

■消費収支計算書

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

消費収入の部 (単位：円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金	14,928,169,778
手数料	248,222,645
寄付金	137,010,793
補助金	2,593,488,962
資産運用収入	173,418,212
事業収入	111,373,755
雑収入	316,971,883
帰属収入合計	18,508,656,028
基本金組入額合計	△ 785,006,006
消費収入の部合計	17,723,650,022

消費支出の部 (単位：円)

科 目	金 額
人件費	11,189,620,970
教育研究経費	5,825,927,126
管理経費	1,727,353,863
借入金等利息	169,813,684
資産処分差額	63,915,282
徴収不能引当金繰入額等	22,501,923
消費支出の部合計	18,999,132,848
当年度消費支出超過額	1,275,482,826
前年度繰越消費支出超過額	8,047,901,670
翌年度繰越消費支出超過額	9,323,384,496

■貸借対照表（平成23年3月31日）

資産の部 (単位：円)

科 目	金 額
固定資産	61,072,440,943
有形固定資産	56,143,112,298
その他の固定資産	4,929,328,645
流動資産	21,809,902,768
資産の部合計	82,882,343,711

負債の部 (単位：円)

科 目	金 額
固定負債	11,701,616,115
流動負債	3,863,705,679
負債の部合計	15,565,321,794

基本金の部 (単位：円)

科 目	金 額
基本金の部合計	76,640,406,413

消費収支差額の部 (単位：円)

科 目	金 額
翌年度繰越消費支出超過額	△ 9,323,384,496
消費収支差額の部合計	△ 9,323,384,496
科 目	金 額
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	82,882,343,711

■財産目録（平成23年3月31日）

(単位：円)

科 目	金 額
一資産額	
(一) 基本財産	60,857,680,473
1. 土地	15,851,455,923
借地権	388,140,000
2. 建物	27,298,564,661
(1)校舎	21,438,947,994
(2)図書館	386,321,015
(3)体育館	2,461,356,293
(4)寄宿舎	376,643,844
(5)倉庫	23,429,328
(6)その他	2,611,866,187
3. 建設仮勘定	88,097,500
4. 構築物	1,906,252,622
5. 図書	6,560,644,735
6. 教具・校具・備品	4,429,720,584
7. 車両運搬具	8,376,273
8. 積立金	2,126,428,175
9. 特定資産	2,200,000,000
(二) 運用財産	22,024,663,238
1. 預金、現金	20,300,346,851
2. 出資金	75,959,400
3. 有価証券	960,609,833
4. 未収金	392,768,712
5. 仮払金	53,143,956
6. 差入保証金	138,801,070
7. 前払金	100,598,306
8. 貯蔵品	2,435,110
合 計	82,882,343,711
二負債額	
1. 固定負債	11,701,616,115
(1)長期借入金	10,311,812,700
(2)学校債	6,660,000
(3)退職給与引当金	1,383,143,415
2. 流動負債	3,863,705,679
(1)短期借入金	519,748,400
(2)学校債	3,980,000
(3)未払金	440,044,302
(4)前受金	2,351,904,450
(5)預り金	519,300,986
(6)仮受金	28,727,541
合 計	15,565,321,794

■財務比率

消費収支計算書及び貸借対照表に基づく財務比率について、下表で本学の経年比率を示しました。

区 分		19年度	20年度	21年度	22年度	
分類	比 率	算式 (×100)				
貸 借 対 照 表	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総 資 金}}$	△6.4%	△7.9%	△9.5%	△11.2%
	基本金比率	$\frac{\text{基 本 金}}{\text{基本金要組入額}}$	86.5%	87.0%	86.7%	87.5%
	固定比率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自 己 資 金}}$	93.6%	92.2%	92.0%	90.7%
	固定長期適合率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自己資金+固定負債}}$	79.4%	78.5%	78.3%	77.3%
	流動比率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}}$	568.0%	553.7%	473.1%	564.5%
	前受金保有率	$\frac{\text{現 金 預 金}}{\text{前 受 金}}$	840.0%	837.6%	788.5%	863.1%
	総負債比率	$\frac{\text{総 負 債}}{\text{総 資 産}}$	18.8%	18.7%	19.6%	18.8%
	負債率	$\frac{\text{総負債-前受金}}{\text{総 資 産}}$	16.2%	15.9%	16.5%	15.9%
	基本金実質組入率	$\frac{\text{自 己 資 金}}{\text{基本金要組入額}}$	80.2%	79.3%	77.5%	76.9%
消 費 収 支 計 算 書	人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	60.6%	62.6%	64.1%	60.5%
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{消 費 支 出}}$	30.2%	29.8%	29.7%	30.7%
	管理経費比率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	8.6%	9.6%	9.2%	9.3%
	消費支出比率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	101.1%	105.6%	106.2%	102.6%
	【経常経費依存率】	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{学生生徒等納付金}}$	122.6%	131.3%	133.8%	127.3%
	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	82.5%	80.5%	79.4%	80.7%
	寄付金比率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.8%	1.0%	0.9%	0.7%
	補助金比率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	11.5%	12.7%	14.0%	14.0%
	基本金組入率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.6%	0.9%	1.4%	4.2%

■国庫補助金等

設置校名	①	②	③	(単位：千円)		
	経常費補助金	大型機器補助金	G P等選定事業	その他国庫補助金	地方公共団体補助金	合計
岡山理科大学	1,036,424	17,796	141,125	36,540	547	1,232,432
倉敷芸術科学大学	441,610	5,813	49,337	1,000	179	497,939
千葉科学大学	348,306	2,969	31,621	3,060	129	386,085
岡山理科大学附属高等学校				11,353	379,515	390,868
岡山理科大学附属中学校					57,567	57,567
岡山理科大学専門学校					356	356
玉野総合医療専門学校					28,038	28,038
倉敷食と器専門学校					203	203
合計	1,826,340	26,578	222,083	51,953	466,534	2,593,488

①経常費補助金・・・私立大学等経常費補助金（一般補助、特別補助）

②大型機器補助金・・・私立学校施設整備費補助金（私立学校教育研究装置等施設整備費（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費））及び私立大学等研究設備整備費補助金（私立大学等研究設備等整備費）

③G P等選定事業・・・大学改革推進等補助金（戦略G P、教育G P等）、科学技術総合推進費補助金等、文部科学省が選定し、支援を行う補助事業

■受託研究・共同研究・科学研究費補助金

設置校等名	受託研究	共同研究	科学研究費補助金	
			件数	補助金額
岡山理科大学	36 件	28 件	48 件	104,900 千円
理学部	12	11	13	15,980
工学部	16	12	22	39,340
総合情報学部	5	3	11	45,500
附属施設	3	2	1	3,380
その他			1	700
倉敷芸術科学大学	7	6	6	8,190
芸術学部	4	2	2	2,210
産業科学技術学部		4	2	3,120
生命科学部	3		2	2,860
千葉科学大学	4		19	30,530
薬学部	3		11	19,350
危機管理学部	1		8	11,180
岡山理科大学専門学校	3			
合計	50	34	73	143,620